

2018年度目録委員会記録 No.6

第6回委員会

日時：2018年10月27日（土）14時～17時

場所：日本図書館協会

出席：渡邊委員長、河野、野美山、平田、村上（遥）、横山

<事務局>三浦

[配布資料]

1. 刊行に向けてのメモ（20181027）（4ページ-A4、渡邊委員長）
2. 標題紙裏書誌データについて（20181027）（3ページ-A4、渡邊委員長）
3. 標題紙裏の事項の記載（メモ）（2ページ-A4、田代委員）
4. 2018年度第5回目録委員会記録（案）（4ページ-A4）

[報告事項ほか]

1. 議事録の確認
2018年度第5回の記録（資料4）を確認した。

[検討事項]

1. NCR2018年版刊行に向けて
資料1に基づき、刊行までの作業スケジュール、校正作業および作業分担の検討を行った。
 - ・ 事務局で再校の確認をし、11月上旬に印刷所へ提出する。
 - ・ その後、念校を行い、11月20日ごろに校了とする。
 - ・ 念校およびPDF版のファイル修正の分担は初校・再校ゲラチェックと同様とする。
 - ・ 冊子体の納品は12月中旬予定。奥付の発行日は12月25日とする。
 - ・ PDF版の公開日を冊子体刊行と同時とするのか後日とするのかは出版部で確認。委員会では、12月中の公開に間に合うよう作業を進める。
2. 委員会の英語名称について
NCR1987年版等に記された英語名称は「the Committee of Cataloging of the Japan Library Association」である。JLAの各委員会の英語名称は概ねIFLA東京大会（1986）時の資料を元としている。
改めて名称の検討を行い、今回より英語名称として「Committee on Cataloging」を使用することとする。NCR2018年版の標題紙裏に表示する英語名称は「the Committee on Cataloging, Japan Library Association」とする。
3. 冊子体関係
 - ・ 表紙色は「バクラム 色番22」を第一候補として出版部へ提案。
 - ・ 標題紙裏の書誌データについて、資料2,3にもとづいて検討し、NCR2018年版におけるコア・エレメントを表示することとした。体現形の属性の主要部分はISBD形式

とする。

- ・ 以降の校正は、「正誤表を要する事項」かつ「版面修正可能な事項」のみとする。
4. PDF 版関係
- ・ 冊子体の校正で発生した修正点を PDF 版用のファイルにも反映させる。
 - ・ ファイル単位は「予備版」と同様とする。
 - ・ ページレイアウトも予備版から変更しない。PDF 版と冊子体で、ページレイアウトは異なることとなる。
 - ・ 全体目次は不要。ファイル別のみ作成する。
 - ・ 「索引」も公開する。
 - ・ 「予備版」の公開も継続する。
5. その他
- ・ 「図書館雑誌」1月号または2月号に委員長名で「目録委員会報告」をもとにした2ページ程度の文章を掲載する。
 - ・ 本版の位置づけに関する文書を作成する。
 - ・ 予備版以降の変更事項をまとめる。重要な変更点の説明を冒頭に、あとは重要度に応じて条項順に整理する。分担は未定。PDF 版の修正作業後に取りかかる。

次回以降の委員会の予定

11 月は開催なし

12 月 15 日（土）

以上